

コロナ禍における学びの保障～ICT教育の推進について～

1 コロナ禍における学びの保障

コロナ禍において、感染症対策と学びの保障を両立し、学校ならではの学びを最大限確保するため、教育課程の見直しやICT環境の整備による柔軟な対応が可能となるよう準備を進める。

2 「Society5.0の教室」プロジェクトの実施

国のGIGAスクール構想により児童・生徒に一人一台ずつ配備されたタブレット端末や、各教室に配置されているアクティブボード、電子黒板等のICT機器、通信ネットワーク及びクラウド環境を活用し、Society5.0時代の到来を見据えた新しい授業スタイルを創造することを目的に、「Society5.0の教室」プロジェクトを実施している。

<事業スケジュール>

令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度～
○1人1台のタブレット端末の配備と環境の整備 ○学習支援ソフトのクラウド活用	○授業におけるタブレット端末の効果的な活用場面の検討・実践及び実践事例の区立学校間での共有	○蓄積されたデータ（学習・指導履歴）を活用し、個々の資質・能力を最大化する指導法の開発・実践	○1人1台端末が日常化した子どもたちと教員、保護者、地域による新しい学校の創造

3 ハイブリッド授業の実現

新しい授業スタイルの一つとして、新型コロナウイルス感染症への不安や病気療養等により、学校での対面の授業を受けられない状況においても児童・生徒の学習を継続するため、対面授業と遠隔・オンライン授業を同時に行う「ハイブリッド授業」の実現に取り組んでいる。

あわせて、「ハイブリッド授業」を多様な学びの一つとして位置付け、不登校児童・生徒の教育機会を保障し、学校復帰や社会的な自立につなげる。

<令和3年度の主な取組>

令和3年度は、「コロナ禍における学びを保障するICTを活用した授業に取り組む教員の先行実践及び事例の区立学校間での共有」を目的に、ICTに精通した教員を委員とする「ハイブリッド授業」研究委員会を立ち上げ、小学校・中学校・特別支援の3つの分科会に分かれ、研究を進めている。

4 ICTを活用した授業の実践事例 『小学校1年生活科「きれいにさいてね」』

授業のねらい

朝顔の色や形、大きさ等に気付くとともに、植物に心を寄せ大切に育てていこうとすることができるようにする。

授業での工夫

○授業までにTeams(※1)のクイズ機能やミライシード「学習探検ナビ」(※2)、アルゴジック(※3)等に取り組む時間を3時間設け、タブレット端末の基本的な操作方法等について習熟を深める。

○事前に種、子葉、本葉等の観察を同様の手順で実施する。

○事前に観察と観察カードの記入を行い、紙面とタブレット端末とを併用し、児童の主体的な取り組みや活動の振り返りに繋げる。

○ミライシード「オクリンク」(※4)で、朝顔を観察して気付いたことをカードに書き表す。提出BOX(共有フォルダ)でカードを共有し、異なる視点に気付いたり、自分の考えを深めたりできるようにする。

○黒板の様子を児童のMyボード(ノート)に送って、授業で気付いたことや新たに分かったこと等を、改めて観察カードに書き加えさせる。授業のねらいに立ち返り、活動を振り返らせる。

○登校することが不安な児童に対しては、保健室から授業に参加できるように養護教諭と連携し準備を進める。事前に友達が撮影した写真をMyボード(ノート)に送って他の児童と同じ状態を作り、気付いたことをカードに書くこと、カードが書けたらスライドにまとめて提出することを伝える。

児童の様子

○これまでに撮影した朝顔の写真と観察カードを基に、気付いたことを「つつる」「けがはえている」等と自分の言葉で表した。

○カードを写真と繋げてスライドにまとめ、提出BOX(共有フォルダ)で共有し、意見を比較したり、新しい視点に気付いたりした。また、必要に応じて、友達の写真やカードを別の児童のスライドに付け加えて活動の支援を行った。

○友達の意見を見て、新しく気付いたこと、素敵だと思ったことを観察カードに書きたした。

成果 ○「オクリンク」の活用を通じて、教室にいる児童も保健室にいる児童も自分の言葉をカードに表したり、友達とカードを共有したりする経験ができた。

○「オクリンク」と観察カードを併用することで、カードの共有を通して新しく気付いたことや分かったことを成果物として実感させることができた。

○同一のMyボード(ノート)を種の観察から継続して使用していた。これまでに撮影した写真やカードを関連付けて振り返ることができた。

課題 ○子どもの操作時間を確保し、友達の意見と比較したり、新しい視点に気付いたりする活動を充実させる必要がある。



↑【撮影の様子】



↑【オクリンクでカードに書き表す】



↑【友達と意見を交換する】

(※1) Teams：会議アプリ。クラスルーム内でビデオ通話機能、協働編集、課題機能、コメント投稿機能などを利用して、オンライン授業を行ったり、資料を共有したりすることが可能。

(※2) ミライシード「学習探検ナビ」：教材アプリ。プリント教材とデジタル教材があり、授業中や宿題などの家庭学習で利用することが可能。(※3) アルゴジック：プログラミング学習アプリ。

(※4) ミライシード「オクリンク」：授業支援アプリ。児童の考えにあった表現方法（絵や文字、検索サイトからの貼り付けやカメラでの撮影など）を用いてカード形式で成果物を作成して先生や友達と共有することが可能。